

# 車載用ダイヤトーン

形名

## DS-SA1000 シリーズ

(17cm SEPARATE 2WAY SPEAKER)

作業者さまへ

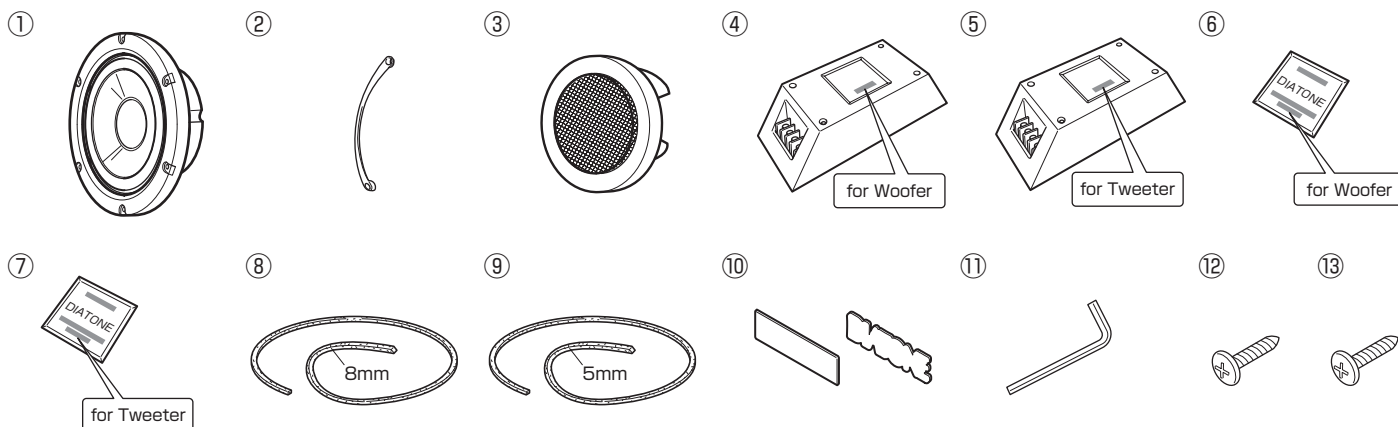
取り付け作業前に  
必ずお読みください。

### 取付要領書

本書には、当社が蓄積してきた取り付けのノウハウが記載されています。性能を最大限に引き出すため、必ず作業前によくお読みのうえ、正しい取り付けを行ってください。ダイヤトーンスピーカーは取り付け方次第で音質が大きく変化します。本書は作業完了後お客さまへお渡しください。

### 同梱品

同梱品はご購入の商品により異なります。形名をお確かめのうえ、適合した形名の欄をご参照し、同梱品がそろっていることを確認してください。



番号	名称	数量					
		DS-SA1000	DS-SA1000NL	TW-SA1000	WF-SA1000	NW-SA1000-TW	NW-SA1000-WF
①	ウーファー	2	2	-	1	-	-
②	スタビライザー	4	4	-	2	-	-
③	トゥイーター	2	2	1	-	-	-
④	クロスオーバーネットワーク(ウーファー用)	2	-	-	-	-	1
⑤	クロスオーバーネットワーク(トゥイーター用)	2	-	-	-	1	-
⑥	ネットワークネームプレート(ウーファー用)	2	-	-	-	-	1
⑦	ネットワークネームプレート(トゥイーター用)	2	-	-	-	1	-
⑧	クッションテープ(ウーファー用幅8mm)	2	2	-	1	-	-
⑨	クッションテープ(トゥイーター用幅5mm)	2	2	1	-	-	-
⑩	DIATONE エンブレム(2種)	各2	各2	各2	各2	-	-
⑪	六角レンチ	1	-	-	-	1	1
⑫	タッピングネジ(ウーファー取付用φ4×25)	12	12	-	6	-	-
⑬	タッピングネジ(ネットワーク取付用φ4×25)	16	-	-	-	4	4

これら以外に「保証書」、「取扱説明書」、「取付要領書(本書)」が入っています。

### 注意

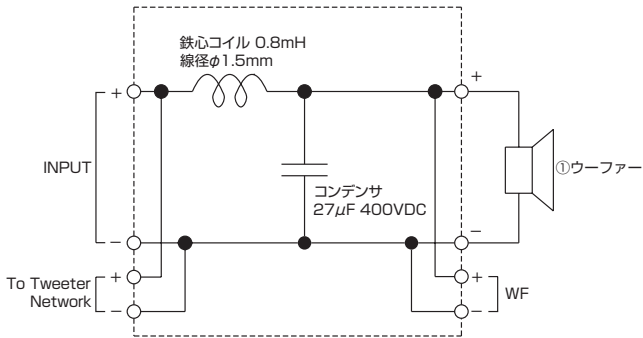
- B4C プレミアムボロン振動板は非常にデリケートです。トゥイーターの金属メッシュを外した状態での使用は、振動板が破損する危険や音質に影響するだけでなく、保証修理対象外となります。組み付けられた状態で取り付けて使用し、分解は行わないでください。
- NCV 振動板は強い突き刺して割れやすい傾向がありますので注意願います。

NANL000915 16-07(A4)

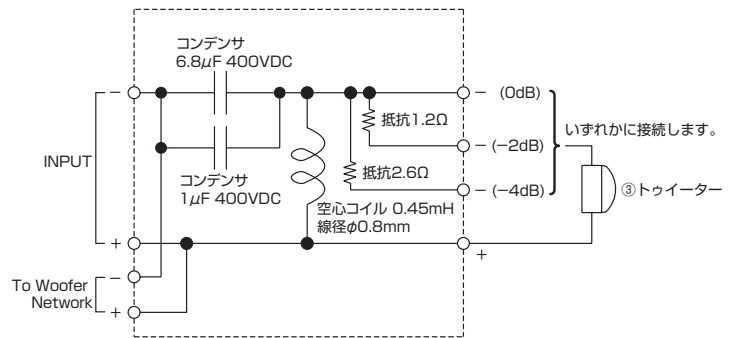


# クロスオーバーネットワーク回路図

## ■ クロスオーバーネットワーク (ウーファー)

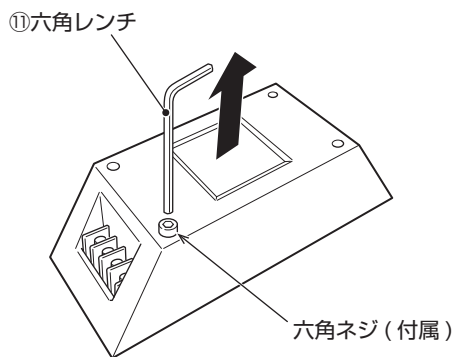


## ■ クロスオーバーネットワーク (トゥイーター)

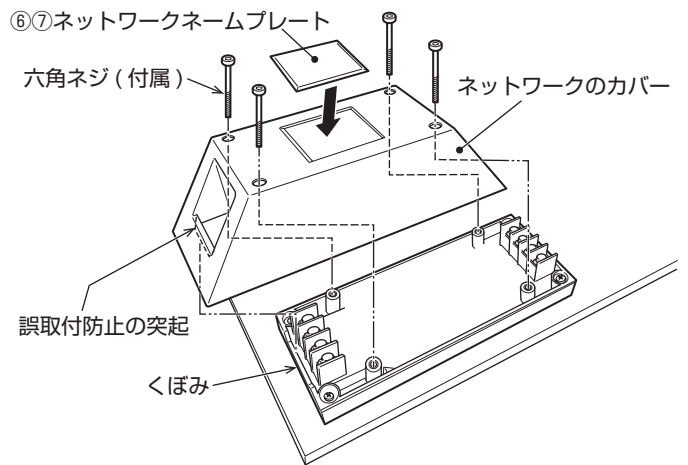


# クロスオーバーネットワークの取り付け

## 1 ④⑤クロスオーバーネットワークのカバーを取り外す

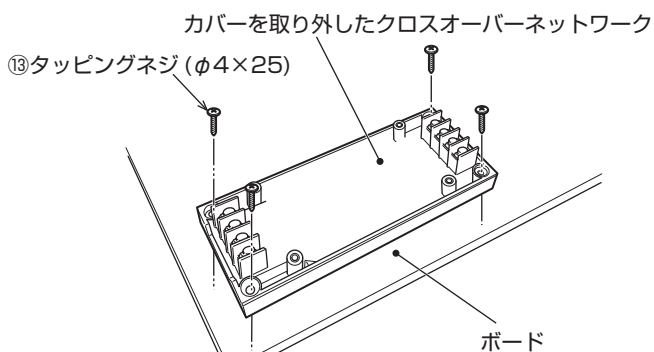


## 3 カバーを戻し、⑥⑦ネットワークネームプレートを貼り付ける



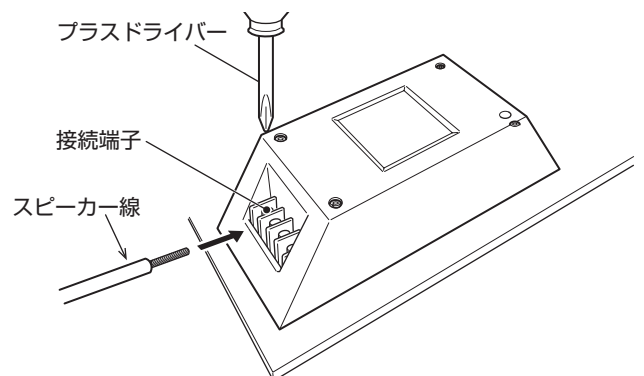
※カバーの種類 (ウーファー用 / トゥイーター用) をよく確認し、誤取付防止の突起をくぼみに合わせてはめ込みます。

## 2 ⑬タッピングネジ (φ4 × 25) でボードに固定する



※クロスオーバーネットワークはイメージ図です。

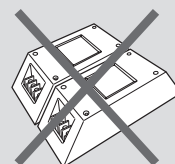
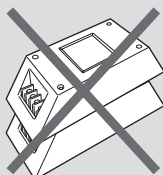
## 4 接続端子をゆるめ、スピーカー線をしっかり差し込み、接続端子に締め付ける



適合スピーカー線径: ~ 5.5sq (AWG# 10) (別売)

## 取り付けのアドバイス

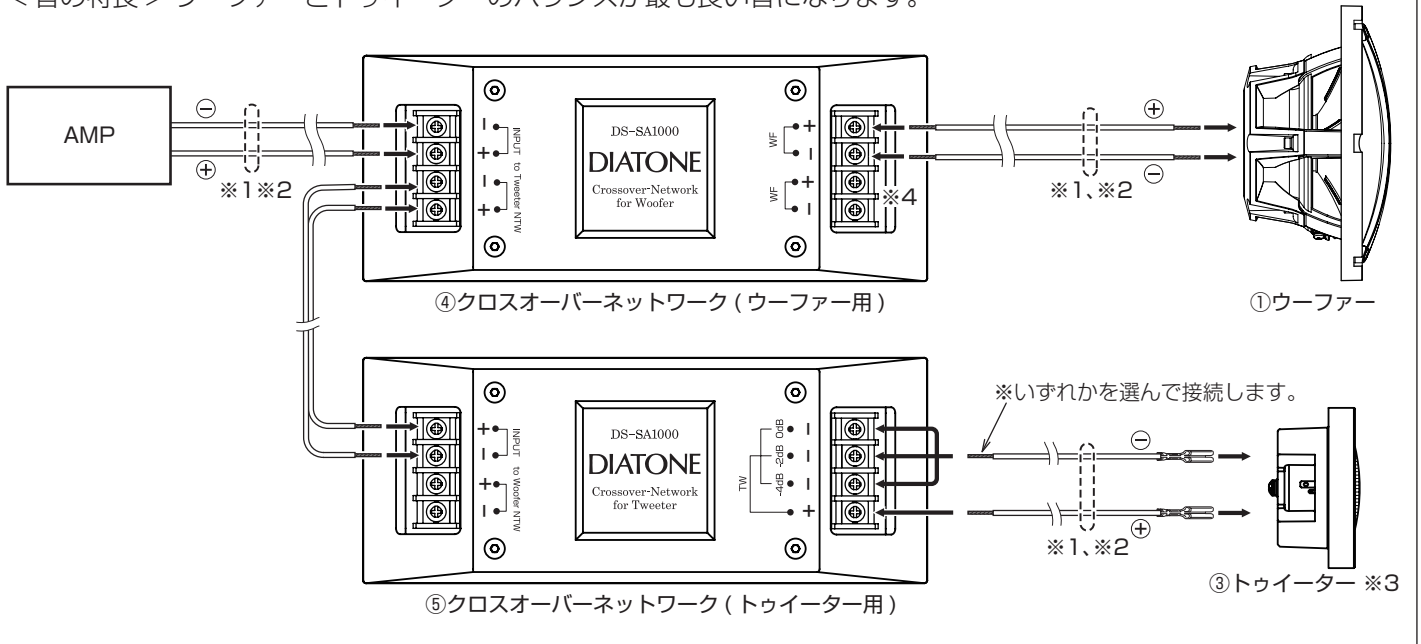
- ・クロスオーバーネットワークの外形寸法は別紙の取扱説明書をご参照ください。
- ・ネットワークネームプレートは保護シートをはがし必ず貼り付けてください。貼り付けない場合は音質劣化につながります。
- ・クロスオーバーネットワーク (ウーファー用 / トゥイーター用) は隣り合せた状態や重ねた状態で設置しないでください。「音の濁り」、「S/N感」、「奥行き感」の劣化につながります。できるだけ離れた位置に設置してください。また、ネジでしっかりと固定し両面テープなどで固定しないでください。



# クロスオーバーネットワークの接続例

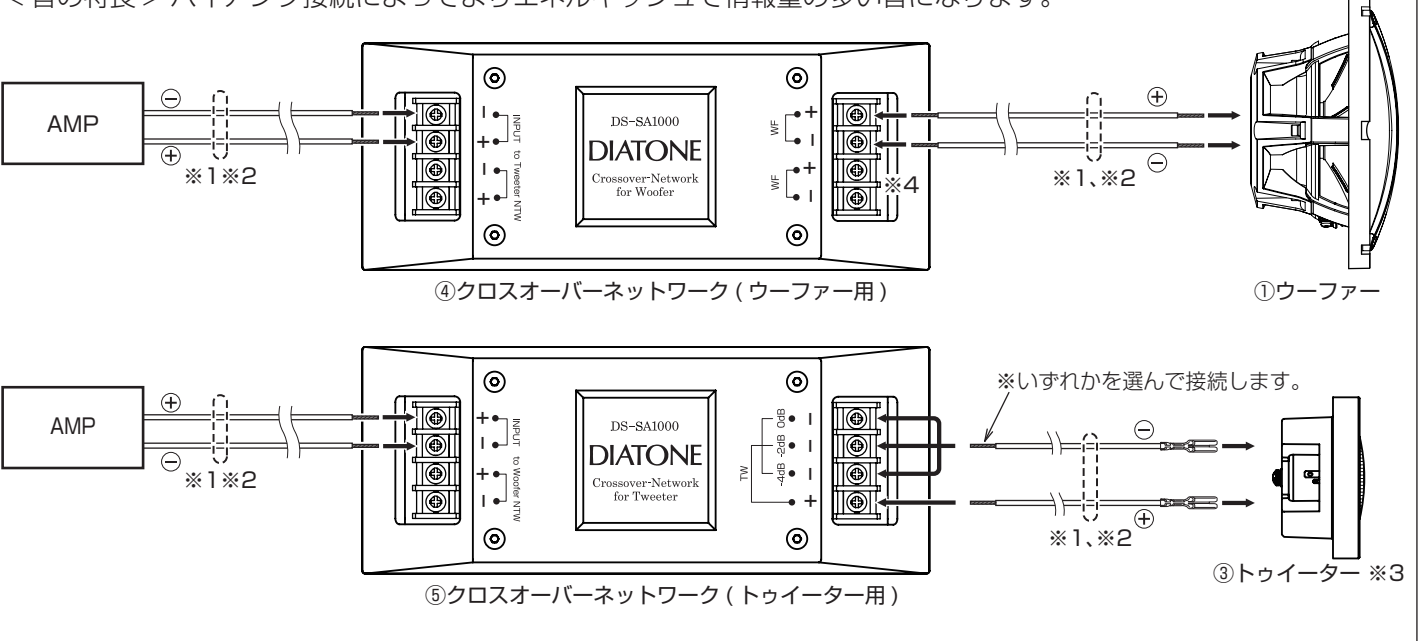
## ■接続例 1

<音の特長> ウーファーとツイーターのバランスが最も良い音になります。



## ■接続例 2

<音の特長> バイアンプ接続によってよりエネルギッシュで情報量の多い音になります。



## 取り付けのアドバイス

- ※1 ウーファーケーブルとツイーターケーブルを束ねないでください。音が濁ります。
- ※2 車両既設ケーブルと一緒にケーブルを束ねないでください。車両ノイズが混入する恐れがあります。できるだけ離して配線してください。
- ※3 ツイーターは、取り付け位置によって逆相に接続した方がよい場合があります。お好みに合わせて、正相または逆相に接続してください。
- ※4 クロスオーバーネットワーク(ウーファー用)のスピーカー出力は、どちらか一方をご使用ください。

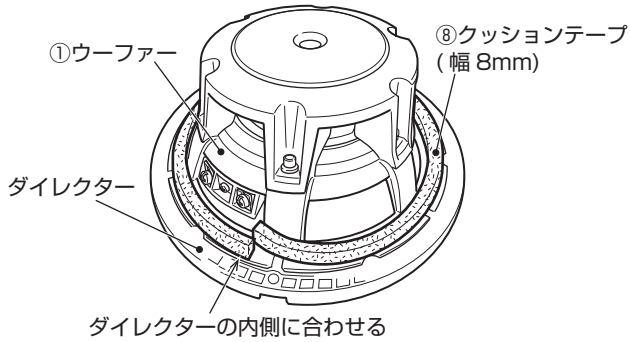
## 注 意

- ・ツイーターとウーファーの配線を誤ると、特にツイーターの破損および発煙の危険がありますので、使用前に必ずご確認ください。
- ・本製品専用のクロスオーバーネットワークを使用せず、オーディオメインユニット内蔵のデジタルネットワークや、外部アンプのフィルターなどを使用して接続する場合、接続および操作方法を誤ると、特にツイーターの破損および発煙の危険がありますので、使用前に必ずご確認ください。

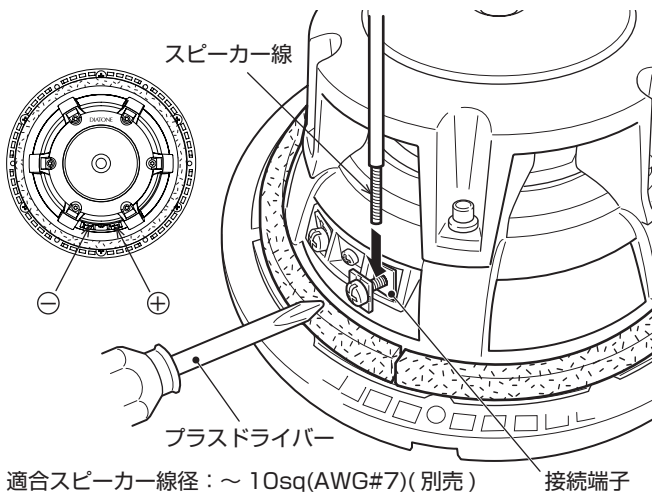
## ウーファースの取り付け

作業は柔らかい布やクッションの上で行ってください。(製品の傷防止のため)

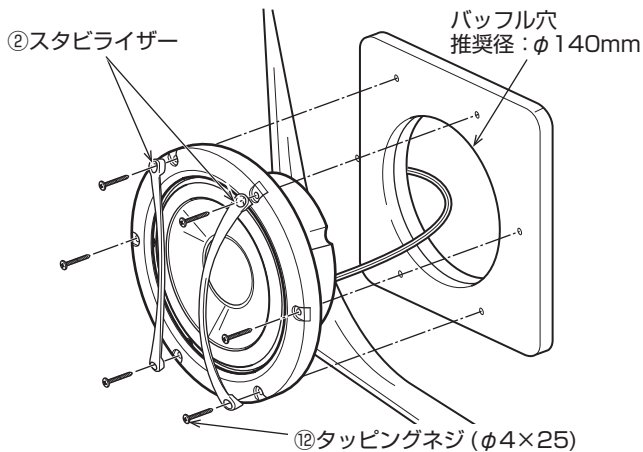
- 1** ⑧クッションテープ (ウーファー用幅 8mm) をダイレクターの内側に合わせて貼り付ける



- 2** 接続端子をゆるめ、スピーカー線をしっかり差し込み、接続端子に締め付ける



- 3** ⑫タッピングネジ (φ 4 × 25) を使って、ウーファーを取り付ける (下図は取り付け例)



誤ってドライバーの先で振動板を突くと、破損します。注意して作業してください。

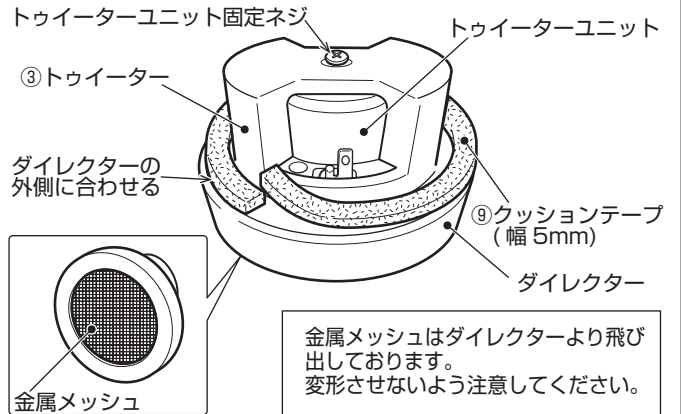
### 取り付けのアドバイス

- スタビライザーは必ず取り付けてください。
- スピーカー線は、ゆるみがないようしっかりと接続端子に締め付けてください。雑音混入の原因となります。
- バッフルの厚みが 25mm に満たない場合は、別のネジをご用意ください。

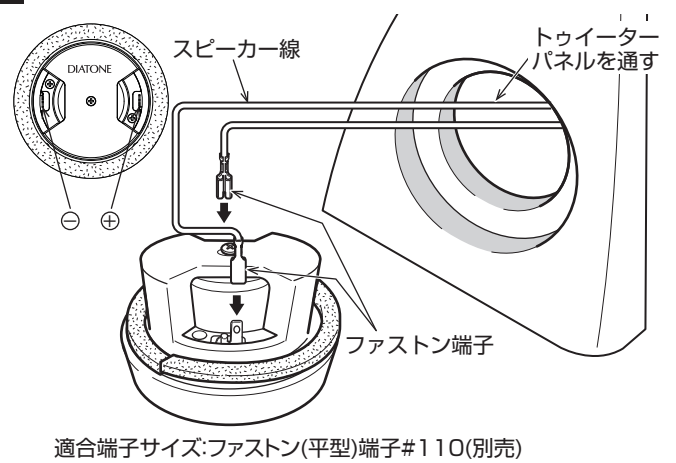
## トゥイーターの取り付け

作業は柔らかい布やクッションの上で行ってください。(製品の傷防止のため)

- 1** ⑨クッションテープ (トゥイーター用幅 5mm) をダイレクターの外側に合わせて貼り付ける

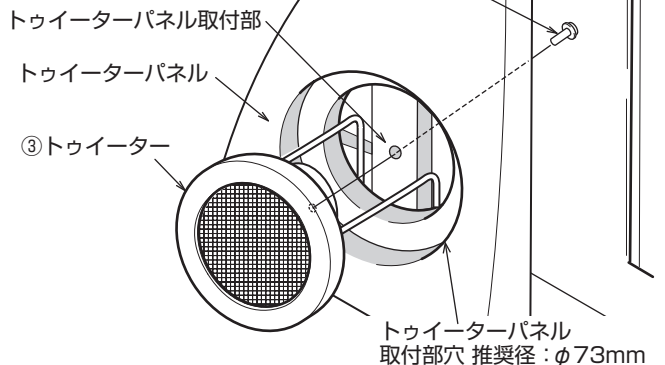


- 2** スピーカー線 (ファストン端子付) を接続する



- 3** トゥイーターユニット固定ネジを外し、トゥイーターを取り付ける (下図は取り付け例)

M4 セムスネジ (別売)  
※トゥイーターへのネジ込みは 6 ~ 8mm が適正値です。確実に 2 回転以上ネジ込んでください。ネジ込み不足は脱落の原因となります。



### 取り付けのアドバイス

- ファストン端子はしっかりと圧着してください。雑音混入の原因となります。
- トゥイーターはトゥイーターパネルに M4 セムスネジで 1 点留めとしてください。(トゥイーターの音が安定します。)
- トゥイーターパネル取付部の厚みが 10mm の場合は長さ 16 ~ 18mm の M4 セムスネジを準備してください。
- ダイレクターの外周に圧力をかけないようにしてください。性能を引き出すためにわずかに隙間がある状態を推奨します。